

都市住宅学会関西支部 学生研究発表交流会 2022

2022 年 9 月 24 日（土）14:15～17:00

（会場：京都大学吉田キャンパス 総合研究 9 号館 4F N7 教室・ギャラリー
集合：13:45 京都大学吉田キャンパス 総合研究 9 号館 1F 玄関前）

■はじめに

都市住宅学会関西支部では、学生が最終的に論文をまとめる前に、さまざまな人との議論を通して自身の研究を深め、なおかつ相互の交流を進める場として「学生研究発表交流会」を開催します。

今年度の発表会でも特にテーマを設定せず、会員に限定することなく学生の発表を広く募集します。現在取り組んでいる研究やこれから取り組む研究でも構いません。他大学の学生・教員、行政、企業の方などからアドバイスをいただき、交流する場です。学生の皆さんは積極的に応募してください。またゼミなどでご指導の先生方にはぜひとも学生とともにご参加いただき、またご関心のある研究室にもお勧めいただきますようお願い申し上げます。

■都市住宅学会について

都市、地域、住宅の問題は、建築学、住居学、都市計画・社会工学、法学、経済学、社会福祉学、社会学、心理学、政治学など幅広い学術領域にまたがり、産官学などさまざまな立場の専門職が関わっています。当学会は、学問領域や立場を超えて、都市、地域、住宅に関する問題を広く議論・共有する目的で設立された学会です。

■学生研究発表交流会

□発表の手順について（**学生の発表申し込みは、締め切りました**）

(1) 発表を希望する学生は、A4 用紙に概要を 300 字以上にまとめたもの（研究タイトル・背景・目的・方法・分析・考察に準ずる構成とすること、図表は適宜付加してよい、引用・参考文献リストを末尾につけること）を word 形式もしくは PDF 形式にてまとめ、E-mail に上記ファイルをメール添付して提出してください。応募の際のメールの件名は「学生研究小論発表・討論会 2022 応募」とし、メール本文には、名前（代表者ならびにグループ全員）、所属（大学・学部・学科）、学年、メールアドレス、電話番号、研究タイトルを明記してください。

応募締め切り：2022 年 9 月 12 日（月）17:00 必着（E-mail にて）

提出先：都市住宅学会関西支部事務局

（E-mail: gakkai-west@urban-ii.or.jp）

(2) 応募締め切り後、応募内容を参考にプログラムを決め応募者全員に通知します。ポスター（パワーポイントを A4 サイズで複数枚掲示してもよい）を掲示できるパーティションのサイズは横 120cm×縦 180cm です。このサイズに収まるようポスターを用意ください。

(3) 研究発表交流会では、ポスターセッションではまず各自 5 分程度の発表を予定しています。全員の発表終了後、直ちに自由討論とします。

□発表交流会当日のスケジュール

13:45 京都大学吉田キャンパス 総合研究 9 号館 1F
玄関前に集合

13:45-14:15 4F ギャラリーに移動後ポスター掲示

14:15-14:45 特別講演『都市の「空き」の捉え方』
馬場弘樹先生（京都大学東南アジア地域研究研究所
/白眉センター）

14:45-17:00 ポスターセッション

□応募資格

近畿地方（2 府 4 県）の大学・大学院に在籍する学部生・大学院生（修士課程・博士課程）の個人もしくはグループ（学会員でなくても応募できます）

□懇親会

新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止の観点から、今年度は懇親会は行いません。

■会場・アクセス

特別講演：京都大学吉田キャンパス 総合研究 9 号館 4F
N7 教室

ポスター発表：京都大学吉田キャンパス 総合研究 9 号館 4F
ギャラリー

集合：京都大学吉田キャンパス 総合研究 9 号館 1F 玄関前

https://www.kyoto-u.ac.jp/ja/archive/prev/access/campus/map6r_y

※地図内 **63 番**の建物の1階玄関前（**今出川通り側**）に集合。まとまって会場の建物に入館する必要があるため、13:45までに必ず総合研究 9 号館 1 階玄関前に集合してください。

アクセス

京都市内の主な鉄道線を利用する場合、以下のいずれかの駅で下車を推奨：

京阪電車「出町柳駅」、阪急電車「河原町駅」、京都市営地下鉄烏丸線「今出川駅」、JR/近鉄電車「京都駅」、京都市営地下鉄東西線「東山駅」

各鉄道駅で下車後、京都市営バスに乗り、バス停「百万遍」または「京大正門前」にて下車、そこから徒歩

住所：〒615-8530 京都市西京区京都大学桂

（連絡が必要な場合、070-8444-1957（三浦携帯）までご連絡ください。）

■問い合わせ先

都市住宅学会関西支部事務局

E-mail: gakkai-west@urban-ii.or.jp

TEL 06-6359-1322 FAX 06-6359-1329

〒530-0011 大阪市北区大深町 3 番 1 号 グランフロント大阪
ナレッジキャピタル タワーC 7階

発表交流会の概要

■特別講演

講演タイトル：『都市の「空き」の捉え方』

講演者：馬場弘樹 先生（京都大学東南アジア地域研究研究所/白眉センター）



講演概要：空き家問題は建築、都市、行政分野などで長らく取り組まれていました。多くの場合、それは管理や利活用などに着目し、空き家の定義をどう捉えるかはあまり議論されてきませんでした。本講演では、現地調査ではなくスマートメータによって判定された空き家を利用し、その空間的傾向や空き家期間に着目した分析を紹介します。これまでに把握困難であった共同住宅の空室と家賃との関係を観察することで、空き家期間の長い共同住宅が周囲にどのような影響を与えるかを考察します。

講演者プロフィール：2019 年東京大学大学院工学系研究科都市工学専攻博士課程修了。博士（工学）。東京大学空間情報科学研究センター特任助教を経て、2021 年から現職。専門は、都市・不動産分析、地理情報科学、都市計画。主に都市政策に関連する住宅問題や住環境評価などを定量的に分析しているが、最近ではアジア諸国に視野を拡張、住まい全般に関する研究を行っている。

■学生交流発表会

◎タイムスケジュール

- 13:45
- 京都大学吉田キャンパス 総合研究9号館1F 玄関前に集合
- (※当日は建物が施錠されているため、開錠をしていただき、全員で集合して入ります。時間厳守でお願いいたします。)
- 13:45～14:10
- 総合研究9号館4F、N7 教室に移動。発表学生は、同4F のギャラリーに移動し、ポスターを掲示
- 14:10～14:40
- 特別講演『都市の「空き」の捉え方』：馬場弘樹先生（京都大学東南アジア地域研究研究所/白眉センター）
- 14:40～14:45
- (休憩 5分)
- 14:45～15:10
- 研究概要の紹介・前半（各学生3分ずつ N7 教室にて）
- 15:10～15:50
- ポスターセッション・前半（ギャラリーにて）
- 15:50～15:55
- (休憩 5分)
- 15:55～16:15
- 研究概要の紹介・後半（各学生3分ずつ N7 教室にて）
- 16:15～16:55
- ポスターセッション・後半（ギャラリーにて）
- 16:55～17:00
- まとめ・ふりかえり

◎ 発表者・発表題目

NO.	名 前	所 属	タイトル
前半セッション 研究概要の紹介 14:45～15:10 ポスターセッション 15:10～15:50			
1	吉原哲也	大阪教育大学大学院教育学研究科 高度教育支援開発専攻 教育ファシリテーションコース	建築に関わる職人を育成するための伝統技術教育に関する研究
2	井上泰地	京都大学大学院 工学研究科 建築学専攻	VR 空間での空間体験における身体性とスケールの獲得-視点移動と人型添景の寄与について-
3	何 思源	京都大学大学院 工学研究科 建築学専攻	混住型学生寮の共有空間の使い方に関する研究
4	ZHAN HUI	京都大学大学院 工学研究科 建築学専攻	サービ付き高齢者向け住宅におけるケアと空間構成に関する研究ー認知症・重度要介護高齢者に対応の実態分析を通じて
5	三宅真由佳	京都大学大学院 工学研究科 建築学専攻	複合型高齢者施設のまちびらきに関する研究ー可視分析および活動の質評価を用いてー
6	坂本慶太	京都大学大学院 工学研究科 建築学専攻	子ども食堂から見る、地域における新しい「居場所」のあり方に関する研究
7	井筒望友	京都美術工芸大学 工芸学部 建築学科	京都市の高経年マンションの現状とその管理実態に関する研究
後半セッション 研究概要の紹介 15:55～16:15 ポスターセッション 16:15～16:55			
8	東野未和	京都大学大学院 工学研究科 建築学専攻	都市空間と装いの結びつき
9	鄭 活	京都大学大学院 工学研究科 建築学専攻	深層学習によるセマンティックセグメンテーション手法を用いたオープンスペースの利用状況に関する研究ー総合設計制度による公開空地を対象としてー
10	稲田浩也	京都大学大学院 工学研究科 建築学専攻	Text-to-image AI を用いた景観イメージ策定手法のケーススタディ
11	興梠卓人	京都大学大学院 工学研究科 建築学専攻	風景印に表現される地域資源-絵入り消印の多様性に基づく地域クラスタリング・消印制作を通じた地域資源認知-
12	伊吹千雪	京都府立大学 生命環境学部 環境デザイン学科	立地適正化計画の居住誘導区域外における住民の居住誘導方策に関する研究ー住民の生活行動や意識に基づく分析からー
13	Alaa Alsherfawi Aljazaerly	Osaka University Architectural and Urban Design Studies	Urban Morphologies and Urban Social Sustainability, Case of Istanbul